CORPORATE NEWS

2026 年 11 月 26 日

サントリー、ユニ・チャーム、ダイキン　トラックのラウンド輸送を開始

異業種メーカー3 社の連携により、物流の効率化に貢献

ダイキン工業株式会社、サントリーグループ、ユニ・チャームグループは、持続可能な物流体制の構築をめざし、関西・関東・東北区間において、異業種 3 社によるトラックのラウンド輸送を、2026 年 11 月より本格運用を開始しました※1。

※1：2026 年 4 月からの試験運行を経て稼働。

【取り組みの概要】

当社はこれまでも異業種他社とのラウンド輸送に取り組み、トラックドライバー不足や CO2 排出量削減といった課題への対応を進めてきました。

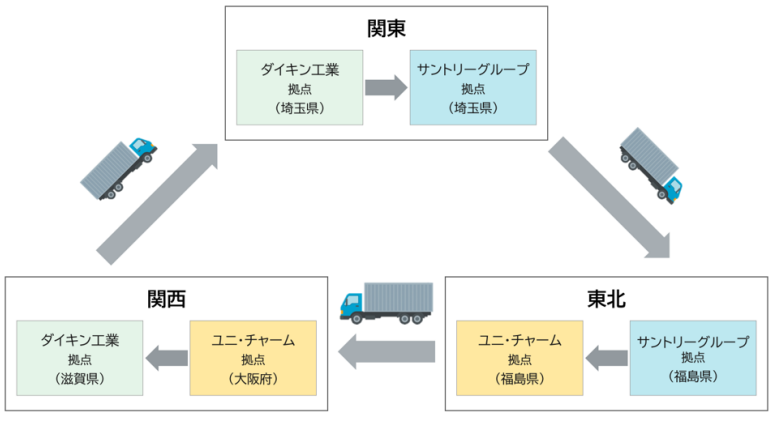
本取り組みでは、輸送品目や配送拠点の異なる 3 社が協業し、新たなラウンド輸送を実施します。従来の運行においては帰り荷の確保が不確実であり、非効率な空車回送が発生していました。そこで、同様の課題を抱えるメーカー3 社が主体となって連携し、近接する配送拠点を持つ各社の運行スケジュールを組み合わせることで、効率的な輸送設計が実現しました。帰り荷待ちや空車回送を抑制し、年間で運行するトラック台数を約 360 台、CO2 排出量を年間約 260t 削減できる見込みです※2。

※2：各社が個別に自社の拠点間を輸送した場合との比較。

【運行スキームと 3 社輸送のメリット】

関西から関東へダイキンの空調機器を、関東から東北へサントリーグループの清涼飲料製品を、東北から関西へユニ・チャームグループの衛生用品を輸送します。

各区間において輸送行程を固定することで、物流業界の多重下請け構造の抑制に寄与します。加えて、休息時間や道路状況の予測が容易になり、ドライバーの負担を軽減します。また、中距離（関東～東北）の行程を組み入れたことで、運行時間を柔軟に調整可能になりました。その結果、積載効率が向上し、実車率約 90%を確保しています。



3 社輸送の全体図

ダイキンは今後も、サプライチェーン全体を見据えながら、企業間連携やより効率的な輸送体制の構築に取り組み、持続可能な物流の実現に貢献していきます。

〔お問い合わせ先〕ダイキン工業株式会社　コーポレートコミュニケーション室
大阪（06）6147-9923／東京（03)3520-3100
prg@daikin.co.jp